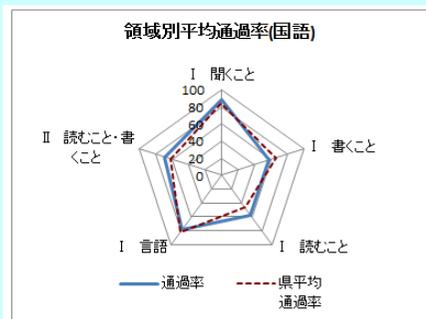
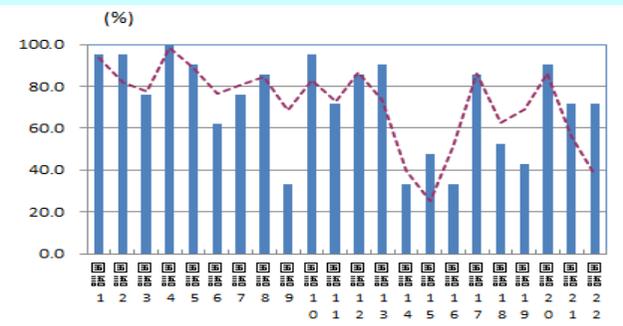


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 70.8 %, 県 71.8 %)

領域別平均通過率



年度別の平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
国語科の全体平均は、71.6%であった。そのうち、タイプⅠは、72.2%、タイプⅡは69.0%の通過率であった。この結果から、基礎的な内容も活用的な内容も、概ね定着が図られていると分析する。
- 昨年度の課題への取り組みの課題
昨年度は、中心となる語や文に課題が見られた。(通過率 72.1%) そこで、キーワードや中心文を見つけさせて、文を要約することに取り組んだ。しかし、今年度も通過率が低かった。

重点課題

【課題1】二の4

文の中における主語・述語の関係に注意する問題に課題がある。この問題において、目的語(おみやげ)を主語だと誤答した児童の割合が最も多く、47.6%であった。正しく主語を選ぶことができた児童は全体の33.3%であった。

【課題2】三の2

文と文の意味のつながりや段落相互の関係を考え、文章を正しく読むことに課題がある。この設問において、正しい段落を選ぶことができた児童は、全体の33.3%であった。第三段落のはじめに、「また」という接続詞があり、その前には具体的な事例が入ることが分かっていない。第四・五段落の後に入れた児童が、合わせて47.6%だった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

主語・述語の意味を、再度指導する。また、日常的に主語をきちんとつけて話す習慣をつけさせたり、日記指導等で、主語・述語のねじれが見られる場合は、その都度書き直させたりする。さらに、ドリルタイムでは、主語・述語を扱った問題に取り組ませる機会を増やす。

【課題2】

段落に書かれていることの内容が十分に理解できていない児童には、キーワードや中心文を見つける指導を行う。また、短い文章を使って、段落を要約させたり、その段落の関係を図式化させたりしながら、段落相互の関係をとらえる力を高めていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 1学期復習テスト			3.4.5.6年生 学期末テスト	3.4.5.6年生 標準学力テスト	4年生 H26[基礎・基本]	3.4.5.6年生 学年末テスト
目標値	80%			80%	75.0%	75%	80%
実施後数値							

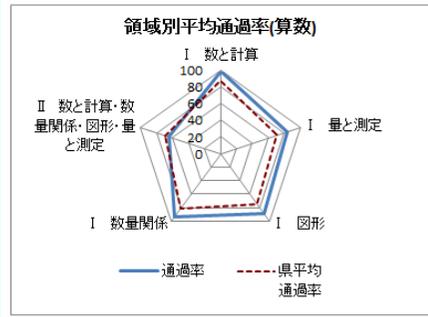
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 1学期復習テスト			3.4.5.6年生 学期末テスト	3.4.5.6年生 標準学力テスト	4年生 H26[基礎・基本]	3.4.5.6年生 学年末テスト
目標値	80%			80%	75.0%	75%	80%
実施後数値							

指導方法等の改善計画について [算数科]

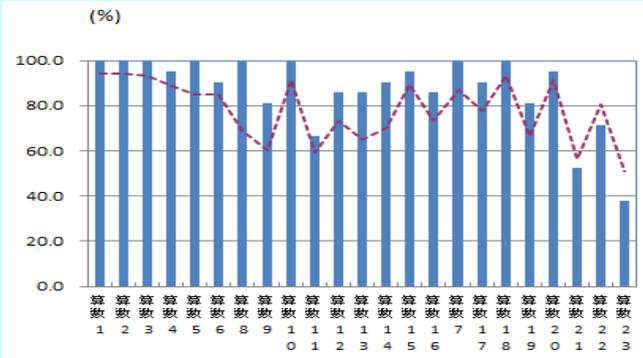
三原市立南方小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 87.2 %, 県 78.0 %)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

- タイプⅠの通過率は 92.0%で、複合図形の面積を求める立式に課題が残るが、基礎的な問題についてはおおむね定着ができていているといえる。しかし、タイプⅡの通過率は 64.3%で、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力にかかわる問題については課題が残る。
- 昨年度は「量と測定」に課題が見られた。そこで、具体物を使ったり、日常生活の場面を利用した問題を作成して考えさせたりして、授業改善を行った。その結果、「面積」「重さ」「角の測定」についての問題については定着ができていているといえる。一方、複合図形の面積を求める問題については課題が残る。

重点課題

【課題1】「数量関係」

示された解決方法を理解し、課題を解決することに課題がある。(通過率 52.4%)

【課題2】「量と測定」

示された長方形の板にカードを敷き詰めることができないと判断するための方法を考え、それを言葉の式を用いて記述することに課題がある。(通過率 38.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

根拠を明確にして相手を説得するように工夫して話す機会を増やし、友だちの発表と自分の考えを比較して、説明に過不足がないかを確認することで、説明する力を高める。

また、応用問題、発展問題等、様々な問題を提示し、解法を論理的に説明する力を高める。

【課題2】

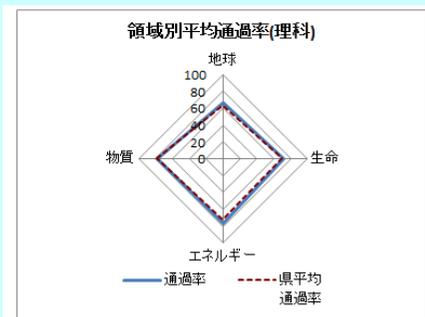
実際に切ったり動かしたりさせながら図形を操作する時間を確保する。また、課題について話し合っって考える算数的活動を意図的に組み込んでいく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					4年生 H26「基礎・基本」	4年生 「変わり方」単元テスト	4年生 学年末テスト 3年生「□をつかった式」単元テスト
目標値					70%	80%	75%
実施後数値							

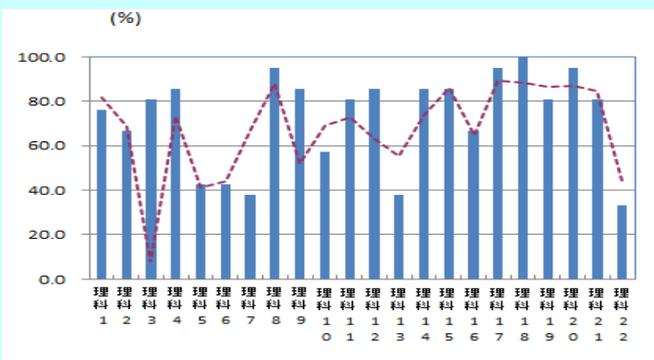
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 「面積」単元テスト		5年生 H26「全国学力」			5年生 学期末テスト
目標値		80%		70%			75%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.9%, 県 70.6 %)

領域別平均通過率



教科別の平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
結果あるいは自分の考えの根拠を、適切な用語を用いて簡潔に記述することに課題がある。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
昨年度は、エネルギー領域の「直列つなぎの回路と回路のつなぎ方」と、物質の分野の「水を温めたときの状態変化」で課題が見られた。
その取組として、次の2点を行った。
 - ①課題を明確にし、課題についての予想をさせ、それに基づく実験をさせる。
 - ②実際に、実験をするだけでなく、実物より大きな掲示物を作成するなどして、目で見てよくわかるような工夫をする。本年度、エネルギー領域の平均通過率は76.2%、物質領域の平均通過率は78.1%となった。

重点課題

【課題1】5(2)

ゴムで走る車について、ゴムを引っ張る長さを決定した理由をグラフから分析して、説明する問題に課題がある。引っ張る長さと走る距離の関係を示すデータを根拠として理由を説明していない児童の割合が47.6%であった。正答率は38.1%であった。

【課題2】9(3)

金属を温めると体積が膨張することを日常の事象に当てはめて考える問題に課題がある。「気温によりレールが温められる」「温められると体積が増える」の記述がないという誤答パターンの児童の割合が最も多く、42.8%であった。原因と結果を正しく記述することができた児童は全体の33.3%であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】【課題2】

結果あるいは自分の考えの根拠を、適切な用語を用いて簡潔に記述することに課題がある。手だてとして、次の2点を重点的に指導する。

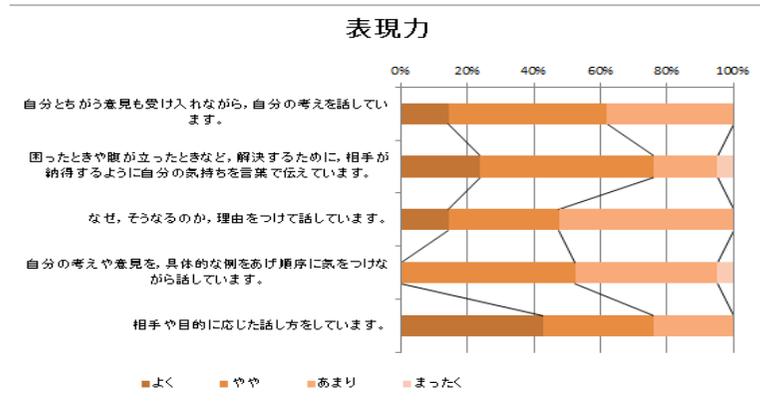
- ①2つの条件の関係を関連付けて説明したり、記述したりする学習場面を取り入れるようにする。
- ②適切な用語(例「体積・かさ」「電流・電流の向き・電流の大きさ」など)を児童が使って発言できるように、これらの用語を書いたカードや表を、教室内に掲示する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3・4・5年生 復習テスト			3年生・4年生 H26「基礎・基本」	理科フォローアップ問題 (三原市作成)	4年生 H26「基礎・基本」	3・4・5年生 学年末テスト
目標値	70.0%			75.0%	80.0%	80.0%	85.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 復習テスト				理科フォローアップ問題	4年生 H26「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	70.0%				80.0%	80.0%	85.0%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習



児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの概
◎ なぜ、そうなるのか、理由をつけて話しています。(47.6%)	◎ 本郷スタイルの徹底と、考え方のツールを利用して、自分の考えを理由をつけて考え、筋道を立てて表現する力を身につけさせる。	5	肯定的評価 60%	児童アンケート	学期末		

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの概
国語	◎ 国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。(47.6%)	◎ 授業などで、比べ読みや調べ学習を行い、学んだことを表現させる学習を取り入れていく。	5	80%	児童アンケート	2月		
算数	◎ 式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりすること。(38.1%)	◎ 式が表わす意味を説明させるなど、「言葉」・「数」・「式」・「図」・「表」・「グラフ」の関係を授業の中でおさえる。	5	80%	児童アンケート	2月		
理科	◎ 理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。(47.6%)	◎ 実験を考えたり、実験結果を考察する際、自分の考えを書かせたりして、それをグループなどで表現する時間を確保する。	5	80%	児童アンケート	2月		